

稲グリ新聞

発行 早大グリーンクラブOB会 稲門グリーンクラブ
編集 富永 信二 佐々木 豊
160新宿区百人町3-8-11 電話 03(360)3336
(毎月1回発行)

九月、十月は

超ハードスケジュール

ボニー&稲グリ「オータムコンサート」概要決まる

この秋行われるボニージャックスと稲グリとのジョイントコンサートの具体的内容と運営事項が決まり、各担当がさつそく準備活動を開始している。

八月二十七日(木)、ボニージャックスの事務所・ニュー西北エントランスで、ボニー側から星さん、渡辺さん、稲グリ側から富永幹事長、加藤マネ(久雄・五六)、土屋ステマネら六人が出席して打合せが行われ、演奏会運営に当たっての諸事項が検討決定された。概要は次の通り。

87年後半に向けての活動日程

9月12日(土)	奉仕園	18:00~21:00
14日(月)	T・O・G	"
19日(土)	奉仕園	"
22日(火)	東混練習場	18:30~21:00
27日(日)	奉仕園	14:00~17:00
29日(火)	東混練習場	18:30~21:00
10月3日(土)	奉仕園	18:00~21:00
※6日(火)	日本TV学園(新宿新田裏)	
	バンド音合わせ	19:30~22:00
13日(火)	東混練習場	"
※15日(木)	プレイス24	18:00~21:00
17日(土)	奉仕園	17:00~21:00
18日(日)	"	14:00~18:00
※20日(火)	東混練習場	18:30~21:00
24日(土)	プレイス24	18:00~21:00
27日(火)	東混練習場	18:30~21:00
※31日(土)	プレイス24	18:00~21:00
11月1日(日)	「ボニー&稲グリ」	

ジョイント・コンサート
千駄ヶ谷・日本青年館
13時開場 13時30分開演
(打上げ・日本青年館予定)
3日(火・祝日)「早稲田大学校友会
特ステ」大隈庭園

12月13日(日)「総会」「グリーンXマス」
午後市ヶ谷・私学会館
19日(土)朝日記念館(朝日新聞)主催
「チャリティコンサート」
特ステ出演 桜楓、桜友協力
午後有楽町マリオン

(注) T・O・G = 東京音楽芸術園
JR新大久保から歩7分
☎03-200-3812
※印 = ボニーと合同練習日
プレイス24 = 地下鉄銀座線・田原町
歩5分・田中玄昌さん(54)
のお世話(芸花舎)
☎03-842-1370

演奏会名称

我等青春!

ボニージャックス &
稲門グリーンクラブ
「オータムコンサート」

日時 十一月一日(日)
午後一時開場・一時三十分開演
会場 日本青年館ホール
(JR信濃町、千駄ヶ谷他)

出演

ボニージャックス
稲門グリーンクラブ

ステージ順、演奏曲

本紙第二面参照

入場料

全席自由 二〇〇〇円

主催

稲門グリーンクラブ

協力

ニュー西北エントランス

収支予算

△支出の部▽
会場費関係(基本使用料、楽屋、
リハ室、ピアノ、音響、照明、
録音、ボニーバンド等) 一〇〇万円

会場関係雑費(アルバイト、弁 当代、著作権料等)

一三万円

その他(打上げ補助、写譜料、 臨時練習場費、楽譜コピー代、 マネージン费等)

四三万円

《合計》 一六五万円

△収入の部▽

有料 一三〇〇枚
(全一三六〇席)

《合計》 二六〇万円

うち招待六〇席

《合計》 二六〇万円

九月十九日(土)

チケット配布、販売開始予定!

※ボニー側との販売分担保未定
※プログラム、チケット、チラシ
は広告収入分(二〇〇~二五万円
で賄う)

チケット、チラシは現在、ニュー
西北エントランスで作成中で、十九日の
練習(奉仕園)でお目見えする予
定。一致協力、売り盛りましょう!

担当マネージャー
加藤 久雄(五六)
ステージマネージャー
土屋 信吾(四四)

ともに歌おう!!

全国OB諸兄

十一月一日に上京を!
幹事長 富永 侃(三五)

十一月一日に「オータムコンサ
ート」、三日に「早大校友大会特
ステ」と、稲グリが続けて歌いま
す。全国のOB諸兄には、二日に
休みを取って上京され、一日はボ
ニーとの共演を客席で楽しみ、二
日夜に軽い再会のパーティでも
開き、三日には大隈庭園で校歌、
愛唱歌を大声で歌おうではありませんか。
日頃、慢性的な大声欲求不満をか
こつあなた!この機会に是非是非
ご上京あれ。お待ちしております。

練習状況

夏休み(八月十一日・十八日)
を挟んで「オータムコンサート」
の練習に入っており、出席は左表
の通り。九月八日は五十名とOB
四連前のレベルに達し、盛り上が
りつつある。

九月一日までは「シーシャント
イー」八日からボニーとの合同
ステージ曲が始まっている。楽し
い曲ばかりで暗譜もさほど難かし
くないが、OBが若干苦手とする
シンコペーションが多く、拍を数
えていくうちに足と手がこんがら
がって苦労するが、伴奏がつけば
あつという間にマスターするぞと
皆豪語している。とはいえ、限ら
れた練習回数ゆえ、油断は禁物。
一暗譜一番、お酒は二番!

八月二十八日からB₁五六年卒
の仁科さんが皆勤している。グリ
スマス・ゲームの達人といわれな
がら稲グリステージにはまだオン
ステなし。期待してまします。
昨日演以来行方不明だったB₁
塚越さん(三九)も久々に顔を見
せ周囲を安心させている。
練習はあと十六回、頑張りまし
よう!

《出席状況》

	8/4	25	9/1	8
T ₁	9	9	4	11
T ₂	8	9	10	12
B ₁	12	8	8	14
B ₂	11	15	14	13
	40	41	36	50

第六回OB四連テープ出来!

カセットテープ二巻一セット
練習場で頒布中、残部僅少
二〇〇〇円

【ハミダシ情報】T₂佐藤隆一さん(四一)が所要で訪台し、稲グリの記事として礼を述べるべく高雄の華王大飯店を訪ねるも不在。去年の悪夢の一夜が原因か。

家族、郎党六十一名が大集合

卒業二十五周年同期会(三十七年卒)

B、横尾正稔 記

山形県米沢市外、栗子国際スキ
ー場の清酒なホテル・バレーブラ
ンシュは、この八月、八日、九日
にかけて時ならぬ賑わいを見せて
いた。

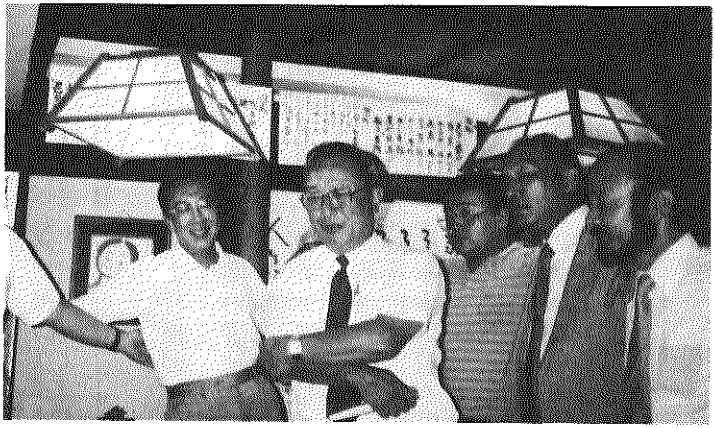
グリー三十七年卒十七名とその
家族、また外郭団体のママさんコ
ーラス・グループ・オールゴール
ー(B・三巻君の奥さん主宰)の特
別参加まで合わせて六十一名が大
集合したからだ。勿論亭主共の卒
業二十五周年の祝典がメイン・テ
ーマである。

昼過ぎから三々五々と集まり始
めた面々、テニス等で一汗流した
あと、夕刻四時過ぎから広間にピ
ールとスナックを用意して、いざ
「アペリチーフ・コンサート」と
銘打った「ファミリアコンサート」
の開幕である。聴衆は家族等四十
数名。

十七名中ベースパートが十名、
テナーパートは指揮者の耕納君を
含め七名しかいないというのに、
そのうち三名が高速道路の大渋滞
に巻き込まれ、早朝出発したにも
かかわらず、まだ現われぬや
むなく低音の利いた重厚なアンサ
ンプル(?)を披露することしば
し。

合間に大阪から駆けつけた田中
君の奥さんとお嬢さんの音大
卒親子による本格的デュエットを
始め、各家族の格調の高い独奏あ
り、合奏あり、ママさんコーラス
のご披露ありなど盛り上がるころ、
汗を拭き拭き遅刻組が登場。皆ホ
ッとして、この春以来蒲田のカラ
オケ・スナックを借り切って練習
してきた(何たるこの情熱!)現
役時代のレパートリーを十数曲次
々に歌いまくる。まだ確かなもん

【ハミダシ情報】九月五日(土)、稲グリメンを乗せた豪華ヨットが油壺ヨットハーバーを静かに滑り出す。が、風が足りずにセイリングならず。釣船と化して帰港。富永さんのお世話。謝々。

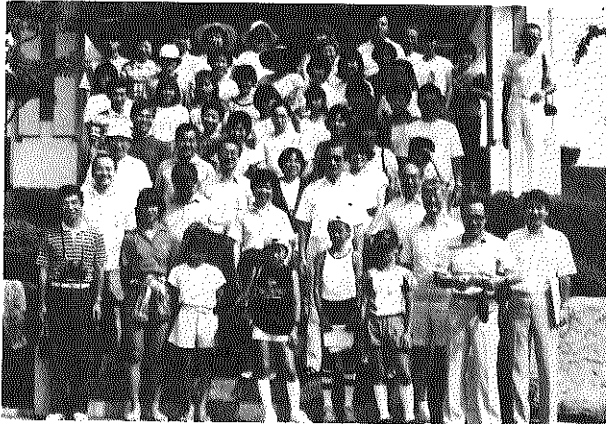


「GOD BE」に涙ぐむ加納さん

加納さんハワイに転勤

稲グリ・ハワイ演奏旅行の下準備を兼ねて?

B1 玉嶋洋一(二七)



全員集合! ホテル・バレーブランシュ前で

昨年七月の第21回定演から稲グ
リに現役復帰以来、練習、ステ
ジ、庄やを通じてすっかり馴染
みになった加納敏(タカシ)さん
(B2・二四)が九月から二年間の
予定でハワイでの海外勤務が決ま
った。
出発は九月十三日(日)、奇し
くも加納さん九月十二日が六十
歳の誕生日。還暦の翌日から二年
間の海外ハネムーンという壮挙と
なる。ただし奥様は一足遅れて後
からハワイ入りとのことなので、
しばらくは加納さんハワチオン生
活となる由。
勤務先は次の通りで、ハワイか
ら上等なコーヒー豆を日本に輸入
し、日米の貿易不均衡を解消する
大役とか。
MR. TAKASHI KANOH
C/O HAWAII MISUZU COFFEE
COMPANY LTD.

がその後、夜遅くまで延々と続い
たことは言うまでもない。
翌日もホテルのバスを連ねてし
っかりと「独眼流」ブームの米沢
市内を観光。酒蔵では「早大グリ
ー」クラブ三十七年卒同期会御一行
様の麗々しい歓迎看板にすっか
り気をよくし、地酒「東光」を各
種利き酒してすっきり出来上がっ
た人もいたが、無事ホテルに戻っ
て昼食を共にした後、「GOD
BE...」をハモッて大成功裡に
散会となった。

稲グリはとも角、同期会は大事
(ここが問題か!?)という結束
のいい面々だけども、この年に一
掛りて執念を燃やした三巻君の強
力なマネジメントと、この場所を
提供し、何かと便宜をお図り下さ
った加藤君のお兄さんのご尽力に
心から感謝したい。
卒業二十五周年の節目に、お互
いの変わらぬ友情を温め合うこん
な素晴らしい会が持てたのも、グ
リークラブという一流の団体で切
さ琢磨し合った若き日の共通の想
い出があればこそと思わずにいれ
ない二日間だった。
歌の仲間万歳!!あとの諸君も続
いてくれ!!

去る八月二五日の練習の後、庄
や四谷三丁目店の奥座敷(?)を
貸切って送別会が開かれ、二五人
の歌う早稲田の栄光とガッソビ
ウイズユウに囲まれ、しばし別れ
の涙となった。僕の力で何とか
!というご挨拶もあり、次回の海
外演奏旅行の候補地の一つにハワ
イも大きくクロースアップされた
が、加納さん余り無理をされな
いように、ハワイに行ったら必ず電
話して下さいのこと。
なお全く偶然にも同期年度幹事
の長尾さん(T1・二四)一家が数
日前からハワイに滞在し、ホノル
ル空港で加納さんを歓迎する側に
回るとか。これもまた滅多には出
来ない演出のようです。
加納さんが先日現地調査の際購
入されたレパートリー合奏団の
左記テープをお預りしていますの
で試験希望者はお申出下さい。
① ROBERT SHAW CONDUCTS SEA
SHANTIES
② THE GOLDEN VOICES OF THE
ROBERT SHAW CHORALE
③ THE IMMORTAL VICTOR HERBERT

我等青春!!
ボニー&稲グリ 「オータムコンサート」
プログラム広告のお願い
(11月1日・千駄ヶ谷 日本青年館)
■A4判 1頁 (表4) 100,000円
1/2頁 (中面) 50,000円
1/4頁 (カ) 25,000円
■お申し込み締切 10月6日(火)
■担当 ニュー西北エンタープライズ 03-239-0309 渡 辺
稲門グリーンクラブ 頼原(42) 03-291-1561 立花書房
03-360-3336 自 宅



「ハミダシ情報」九月八日(火)杉並区立勤労福祉会館で岡村喬生さん(二九)の教え子の会がコンサートを開き、福井会長のお嬢さんの千恵さんがモーツアルトを見事に披露した。

新月会・東京支部

八月下旬に伊豆の一碧湖で一泊二日の合宿を行い、活動を再開しました。
十月二十五日(日)に経堂北教会の礼拝堂でのコンサートがあり「メサイア」を歌う予定です。また、暮れも押し詰まった十二月十七日(日)には、サントリイ小ホールで神戸女学院コーラス部O.G.の「めぐみ会」と合同で混声の「メサイア」に挑戦します。他にも単独のステージのあるこのジョイントコンサートで今年の幕を閉じます。当面「メサイア」漬けというわけです。

ワグネルOB男声

九月十日(木)より練習を再開しています。
今回は四年に一度の慣例となつて、現役ワグネルの定演に賛助出演する年に当たっています。十二月五日(土)十三日(日)に都内で開催される彼らの第百十二回定期演奏会に花を添えるべく、当面の練習はこれ一本に絞っていきます。演奏曲目はワグナーの作品を扱うのがこれも慣例になつていて、今年は一さまよえるオランダ人」を高らかに大合唱することになっていきます。

東京クロイバークラブ

九月三日(木)より練習再開となり、来年三十周年に当たつての、今はさしずめ企画や人数動員等の充実をはかる時期と言えましょう。(記念誌発行や「メサイア」か「第九」を歌うコンサート開催等の計画があります。)
年内は十二月十九日(土)にサントリイ小ホールで「クロイバー」クリスマスファンタジーコンサートで「アベ・マリア」の特集を歌うことになり、十月か十一月には都内で合宿も行います。

大阪稲グリ雑記帳

大阪稲門の名物男、ヒョーキンアサの柿沼氏(五三)がNHK名古屋へ転勤となり、八月十一日急遽送別会。何と二十五名もの参加があり、中に熱狂的ファンというシルバークロイバーの女性二人が花束や扇子のプレゼントを携えて駆けつけ、照れながら贈呈の一幕も大阪稲門始まって以来の華やかな送別会に「僕の時もこんなややつてもらえるやろか」の転勤予備軍の声。このあと二次会、三次会と明け方まで続き、田口先輩(三〇)をして「面倒見切れん!!」と言わせる始末。

編集後記

就職戦線たけなわ。稲グリ新聞の原稿を貰いに行く途中の早大正門行き学バスの中、放送研究会の三年生と思われる男女の会話。「先輩達就職で大変みたい」「オレも通って電気通信関係の会社とばっか思ってたよ」「私も」「博報堂つーのも本屋じゃないんだよね」「えーっとうそー」自分の頃も右の会話の通りに思い込んでいたのを思い出してしまつて思わず苦笑。ナツツカシツ。 (E)
今年初めて早稲田大学職員採用の面接のお手伝いをしました。私のような駆け出しの者の目と前途ある若者の取捨選択をすることに大いなる不安を覚えました。それにひきかえ稲グリは早稲田グリ履歴さえあれば全員採用(??)します。新メンバー特に六十年代の参加を期待しています。(S)
三十七年卒同期会の記事は耕納さんから原稿を頂きましたが、制作時間の都合で横尾さんのものを掲載しました。悪しからずご了承ください。また、名古屋の山口さんからの原稿が未着で誠に残念です。出来るだけ地方在住の方の原稿が欲しいものです。(E)
「稲グリ新聞」も今号で第四十九号。次は丁度五十号を迎えます。昭和五十七年十月一日付けで第一号を発行以来丸五年を経ました。編集局としては、これを機会に「OB、また関係先の皆様に「稲グリ新聞」について色々のご意見を寄せ頂きたいと考えています。様々の不備な点、改善すべきところがあると思えます。思たんのなにご意見を寄せください。送り先は題字下の頼原(えばら)までお願いいたします。(編集局)

隣は何をする人ぞ

稲グリ関連六団体 今年後半の動き

八月末には合宿(一泊二日)プラス自由参加(一日)も実施し、十一月二十九日(日)の第十八回定期演奏会(新宿文化センター)午後二時からに向けて既に仕上げの段階に入ってきました。
今回は故木下保先生の没後五年ということもあって、懐かしい名曲「沙羅」を先生の三女・歌子さんに伴奏していただく歌いませ。また昨年の委嘱作品「いつも風流れる川」を作曲者・林光先生の伴奏で歌います。ご期待下さい。
その他、母校の「目白祭」で現役の歌声喫茶にお邪魔します。

桜楓合唱団

夏休みも終わり、既に強化練習も実施しています。
今秋は十一月六日(金)に共立講堂で行われる現役の第三十回定期演奏会に賛助出演し、磯部、中田両先生の作品である「おかあさんのぼか」を合同で歌うことになっており、これが今一番の目標です。
その他の予定としては、恒例のとおり十一月下旬にバザール、十二月六日(日)に総会及びクリスマスパーティーを開催する予定です。

桜友女声合唱団

八月末から九月にかけて恒例の夏合宿が六泊七日にわたって北軽井沢で行われました。就職活動の影響もあつたが、四年生の参加が幾分少なめでしたが、それなりの成果を上げて無事終了しました(もっとも救急車が一台来ましたが)。この合宿の成果が問われる定期演奏会、今年十一月二十九日(日)です。その他、近頃よく願ひ致します。五日(火)に藤沢市民オペラ・ダッタンの踊りに参加します。また混声合唱で「冬にむかって」も歌います。十月二十日(火)にはワグネルと合同の特ステとして東京駅のコンサート参加が予定されています。

早稲田大学グリークラブ

みんな
みんな
ガンバロー!
稲グリがついてるぞ?